

# 次世代へつなげる活気あふれる地域農業の実現

～「高めよう生産力、築こう地域力、明日へつなぐ花岡農業」～

活動年次：令和3～6年

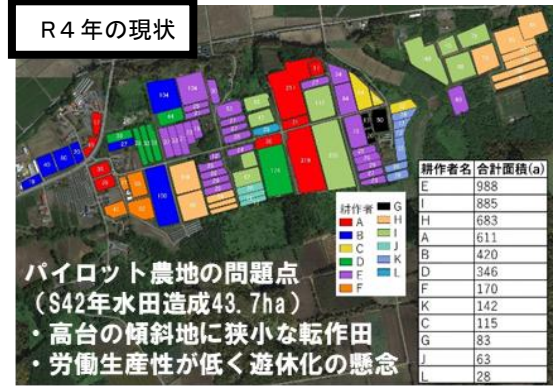
胆振農業改良普及センター東胆振支所

## 1 課題設定の背景

対象：むかわ町花岡地区 23戸

### 【地区の現状】

- ・ 水稻を基幹に園芸作物や畑作物を組み合わせた複合経営が中心。
- ・ 水稻の栽培面積を維持しつつ、野菜や花きの導入により収益性を確保。
- ・ 特にブロッコリーは栽培面積が大きい（約20～80ha/戸）。



パイロット農地の問題点  
(S42年水田造成43.7ha)

- ・ 高台の傾斜地に狭小な転作田
- ・ 労働生産性が低く遊休化の懸念

### 【問題点】

- ・ 担い手の減少と高齢化
- ・ 農地遊休化の懸念
- ・ 労働力不足
- ・ トマトの作付減少
- ・ ブロッコリーの病害多発の懸念

### 【あるべき姿】

- ①花岡版人・農地プランに基づいた生産基盤の強化
- ②労働力に即した栽培体系による経営の効率化
- ③園芸作物の生産性向上等の対策を実施

## 2 活動の経過

推進事項	連携機関	R6						R7					
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①花岡版人・農地プランに基づいた生産基盤の強化	町農委 改良区 JA 普及C	個別巡回 (パイロット農地支援) 花岡通信の全戸配布						地区内検討会、集約化話し合い 道営基盤整備事業に向けた調整 地区懇談会					
②労働力に即した栽培体系による経営の効率化	JA 普及C	ブロッコリー労働時間の記録支援、病虫害調査						調査結果まとめ 情報交換会					
③園芸作物の生産性向上 (トマトの着果安定技術の向上)	町 JA 普及C	調査 (高温対策の効果、害虫発生予察、摘花調査) 調査結果の共有 FAXや部会行事での技術情報提供 安定生産に向けた情報交換会 (ほ場巡回)						調査結果の共有 課題整理					



農地集約の協議



9月中旬は品種を変更したことで、昨年より被害は少なかったです

周りで発生していても、あの品種だけは発生しなかったな

R7も同じ品種構成で作付けします

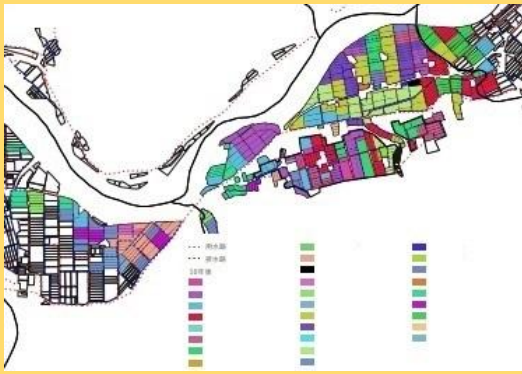
ブロッコリー情報交換



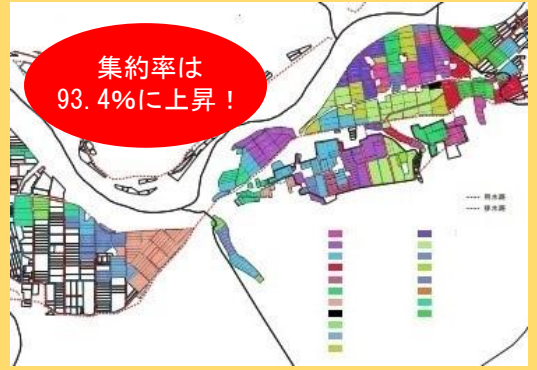
トマトほ場巡回

### 3 活動の成果 \*\*\*\*\*

#### (1) 花岡版人・農地プランに基づいた生産基盤の強化



令和6年に作成した耕作者地図



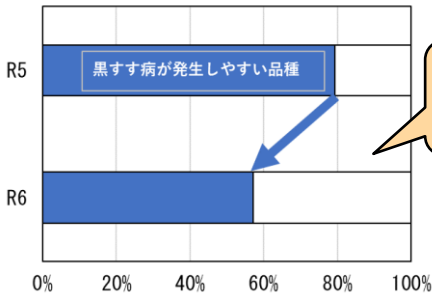
令和7年版の耕作者地図 (集約が進んだ)

花岡ビジョン検討委員会で前年に取りまとめた目標地図をもとに、中核的農業者へ農地集約を推進

基盤整備事業を希望するパイロット農地（地図の太枠内）主要ほ場は6戸に集約

事業計画策定に向けて前進！

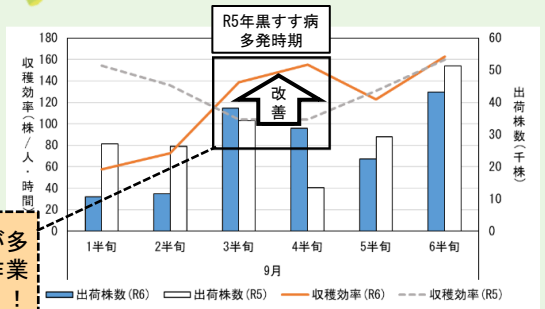
#### (2) 労働力に即した栽培体系による経営効率化



A農家の作付品種構成

3戸が黒すす病に比較的強い品種を導入

R5年に黒すす病が多発した9月中旬の作業効率が改善された！！



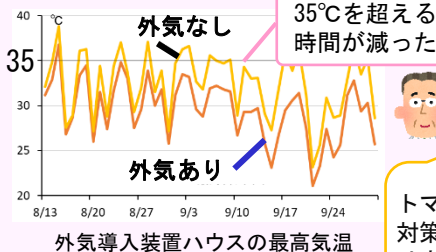
A農家の旬別出荷量と収穫効率

#### (3) 園芸作物の生産性向上 ～トマトの安定生産技術の向上～

安定生産に向けた高温対策  
～外気導入装置・遮光ネット～



外気導入装置



外気導入では結露も減り、病気や裂果が減った。次作は導入台数を増やす

安定生産に向けたアザミウマ類対策

～発生予察を通じて分かったこと～

- ・5月以降、ハウスへの飛び込みが増える
- ・飛び込み頭数が急増すると、定期防除しても被害防止が困難（物理的防除と組み合わせる！）



トマトキバガ越冬個体対策も兼ね、次作からは育苗期防除する！

安定生産に向けた情報交流会



情報交流会

斜め誘引のやり方が参考になった。次作で取り入れてみる

### 4 今後の活動 \*\*\*\*\*

- ・花岡版人・農地プランをもとに、農地集約化に向けた取り組みを支援する。
- ・パイロット農地の基盤整備は、最短年次での計画策定に向けて関係機関と連携して支援する。
- ・ブロッコリー黒すす病の新たな防除方法が登録されたため、その実践を支援する。